

Hokuhoku Financial Group, Inc.

2023

中間ディスクロージャー誌

事業の概況

1. 経営環境

2023年度上半期における当社グループを取り巻く経営環境は、経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善から個人消費も緩やかに回復するなど、全体として持ち直しの動きが見られました。一方で、諸外国における緊張感の高まりや、欧米を中心としたインフレの長期化懸念、資源価格の高騰や急激な円安を背景とした国内の幅広い物価上昇など、不透明な状態が続きました。加えて、世界的な金融引き締めの中、国内の金融政策も段階的に見直しが行われました。

2. 営業の概況

ほくほくフィナンシャルグループ

連結経常収益は、前中間期比8億円減少して961億円となりました。その主な要因は、有価証券利息配当金の減少や、株式等売却益の減少によるものです。

一方、連結経常費用は、前中間期比4億円減少して820億円となりました。その主な要因は、海外金利の上昇を主因に資金調達費用が増加し、国債等債券売却損も増加しましたが、貸倒引当金繰入が戻入に転じたことなどによるものです。

この結果、連結経常利益は、前中間期比4億円減少して141億円となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、退職給付信託解約益の計上と税金費用の減少により、前中間期比67億円増加の160億円となりました。

連結自己資本比率は、9.57%となりました。

当社グループ連結の預金・譲渡性預金の当中間期末残高は、個人預金、法人預金が増加したことにより、前中間期末比3,724億円増加して13兆6,553億円となりました。貸出金の当中間期末残高は、個人ローン、公金貸出が増加したことにより、前中間期末比3,477億円増加して9兆6,588億円となりました。有価証券の当中間期末残高は、前中間期末比2,998億円減少の1兆8,148億円となりました。

普通株式配当につきましては、期末一括配当1株当たり37円を予定しております。なお、優先株式は所定の間配当とさせていただきます。

北陸銀行

コア業務粗利益は、前中間期比22億円減少の323億円となりました。コア業務純益は、前中間期比22億円減少の121億円となりました。経常利益は、前中間期比47億円増加の109億円となりました。中間純利益は、前中間期比78億円増加の120億円となりました。自己資本比率は、9.18%となりました。

預金・譲渡性預金の当中間期末残高は、前中間期末比1,886億円増加し、7兆6,998億円となりました。

貸出金の当中間期末残高は、前中間期末比508億円増加の5兆2,185億円となりました。有価証券の当中間期末残高は、前中間期末比872億円減少の1兆1,421億円となりました。

連結経常収益は前中間期比27億円減少の502億円、連結経常利益は前中間期比47億円増加の109億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比78億円増加の120億円となりました。

北海道銀行

コア業務粗利益は、前中間期比35億円減少の256億円となりました。コア業務純益は、前中間期比40億円減少の74億円となりました。経常利益は、前中間期比50億円減少の40億円となりました。中間純利益は、前中間期比10億円減少の53億円となりました。自己資本比率は、9.19%となりました。

預金・譲渡性預金の当中間期末残高は、前中間期末比1,830億円増加し、5兆9,817億円となりました。

貸出金の当中間期末残高は、前中間期末比2,973億円増加し、4兆4,512億円となりました。有価証券の当中間期末残高は、前中間期末比2,146億円減少の6,644億円となりました。

連結経常収益は前中間期比12億円増加の384億円、連結経常利益は前中間期比49億円減少の35億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比8億円減少の47億円となりました。

ほくほくフィナンシャルグループの事業の概況やESG・SDGsへの取り組みについて、詳しくは、ミニディスクロージャー誌(2024年3月期・営業の中間ご報告)に掲載しております。



CONTENTS

事業の概況	01
企業概要	02
中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況	03
地域活性化のための取組の状況	05
財務データ	06

- 本誌は、銀行法第21条および第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー誌です。
- 本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。
- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

企業概要

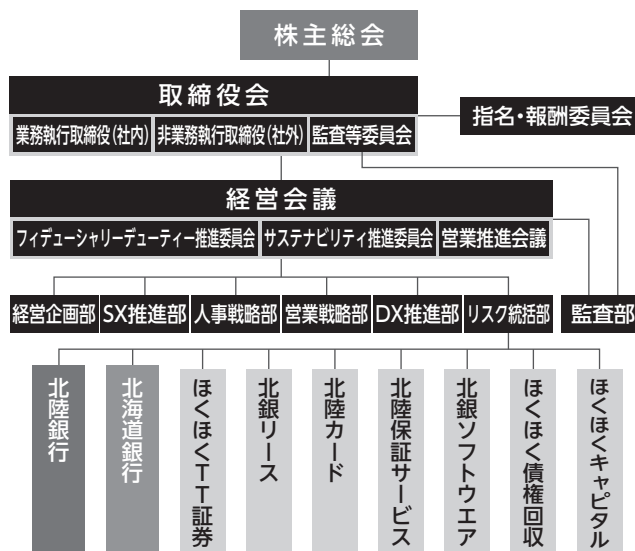
2023年9月末現在

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

設立日	2003年9月26日	
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号	
事業目的	傘下子会社の経営管理、および附帯業務、その他銀行法が認める業務	
資本金	708億9,500万円	
発行済株式数	普通株式	125,370,814株
	第1回第5種優先株式	64,469,000株
上場取引所	東京証券取引所(プライム市場)、 札幌証券取引所	
従業員数	兼務者142名	
総資産(連結)	16兆2,599億円	
預金(連結) (譲渡性預金を含む)	13兆6,553億円	
貸出金(連結)	9兆6,588億円	
連結自己資本比率 (国内基準)	9.57%	

■ 組織図



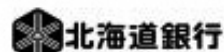
■ 取締役の役職および氏名

取締役社長	中澤 宏	取締役(社外)	横井 裕
取締役副社長	兼間 祐二	取締役監査等委員(兼職)	北川 博邦
取締役	小林 正彦	取締役監査等委員(社外)	眞鍋 雅昭
取締役	高田 芳政	取締役監査等委員(社外)	鈴木 伸弥
取締役	坂本 嘉和	取締役監査等委員(社外)	舟本 馨
取締役	坂井 章	取締役監査等委員(社外)	小川万里絵



<https://www.hokugin.co.jp/>

商号	株式会社北陸銀行	
事業内容	銀行業務	
設立年月日	1943年7月31日(創業1877年)	
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号	
頭取	中澤 宏	
総資産	9兆4,436億円	
預金(含む譲渡性預金)	7兆6,998億円	
貸出金	5兆2,185億円	
自己資本比率(単体)	9.18%	
従業員数(在籍ベース)	2,202名	
店舗数等(国内)	188	(本支店145、出張所43)
	(海外) 6	(駐在員事務所6)



<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

商号	株式会社北海道銀行	
事業内容	銀行業務	
設立年月日	1951年3月5日	
本店所在地	札幌市中央区大通西4丁目1番地	
頭取	兼間 祐二	
総資産	6兆7,734億円	
預金(含む譲渡性預金)	5兆9,817億円	
貸出金	4兆4,512億円	
自己資本比率(単体)	9.19%	
従業員数(在籍ベース)	2,071名	
店舗数等(国内)	144	(本支店136、出張所8)
	(海外) 2	(駐在員事務所2)

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況

■ 中小企業の経営支援に関する取組方針

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」の精神のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを経営理念としております。

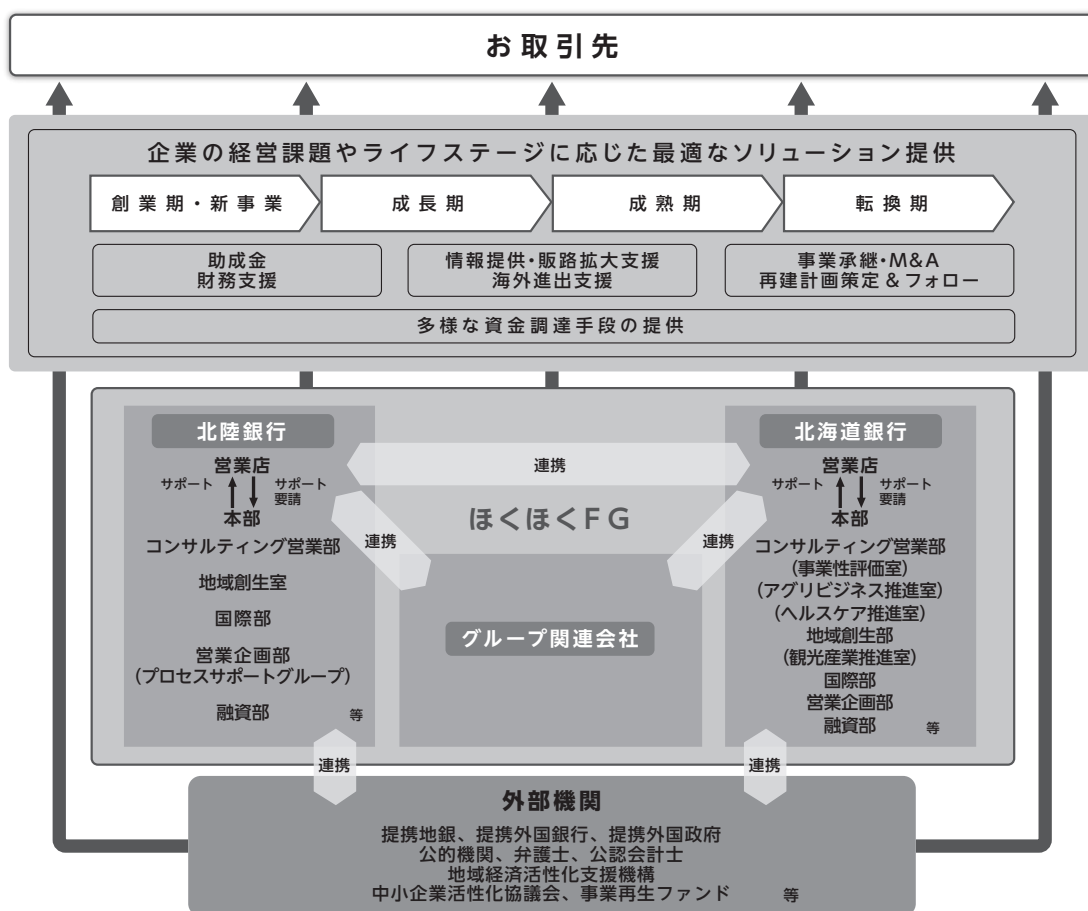
お客さまの経営課題に共に取り組むため、知識・ノウハウを蓄積し、的確なアドバイスやソリューション提案に努めてまいります。また、グループのネットワークを活かし、質の高いサービスを提供するとともに、地域金融の担い手として円滑な金融支援に努めてまいります。

お客さまの経営支援を通じて地域活性化に貢献し、地域から親しまれ頼りにされる金融グループを目指してまいります。

■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備

ほくほくフィナンシャルグループでは、「経営基盤の強靱化」の取り組みの1つとして、中小企業の経営支援に取り組んでいます。お取引先の様々な経営課題に対して、当社グループ各社だけでなく、外部機関とも連携し、企業のニーズやライフステージ（創業期・新事業、成長期、成熟期、転換期）に応じた最適なソリューションを提供しております。

経営の改善のための取り組みに関する計画・実績・進捗状況等については、経営会議や取締役会が各担当部・室より報告を受け、指示を行い、諸施策等の改善や更なる充実を図る態勢としております。



1. 創業・新規事業開拓の支援

当社グループでは、創業や新規事業を考えるお取引先に対し、制度資金やベンチャー向け投資ファンドなど資金調達面からの支援や産学連携を通じたニーズの発掘、成長分野への情報提供を行っています。

・公的助成申請サポートによる事業支援

公的助成制度の紹介や申請書策定支援により、お取引先の新規事業意欲を後押しし、事業多角化をサポートしております。

また、「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金(ものづくり補助金)」や「事業再構築補助金」などの申請を検討・準備しているお取引先に対して、本部部署と営業店が連携しアドバイスや申請支援を行っています。

(2023年度上期実績)

	北陸銀行	北海道銀行
ものづくり補助金採択件数	14件	3件
事業再構築補助金件数	28件	16件

2. 成長段階における支援

当社グループの広域店舗網や提携外部機関とのネットワークを活用した商談会・セミナーの開催を通して、お取引先の販路開拓や工場進出といった事業の拡大を支援しています。商談会では、事前相談やテーマの絞り込みにより、お取引先にとって有益なビジネスマッチングの機会となるよう工夫した取り組みを行っています。

また、海外行政機関や金融機関等との業務提携、海外駐在員事務所による情報提供を通じて、お取引先の海外進出支援や現地における継続的なビジネス展開の支援に努めています。

・ほくほく連携による支援

(2023年度上期実績)

当社グループの広域店舗網(北陸三県、北海道、東京都、愛知県、大阪府等)の特色を活かし、お客さまの課題解決に取り組んでおります。

	北陸銀行・北海道銀行合計
ほくほく連携実現件数	753件

※2行の連携によるお客さまの課題解決に資する取組み(協調融資・ビジネスマッチング等)

・環境分野への取り組み

(2023年度上期実績)

当社グループでは、お客さまへの金融サービスの提供を通じて、持続可能な社会の実現、およびSDGsの達成に貢献するため、サステナブル関連投融資および環境関連投融資目標を設定しています。

お客さまのステータスやニーズに合わせた商品・サービスをラインナップし、お客さまのサステナビリティ経営を支援しております。

	北陸銀行	北海道銀行
サステナブル関連投融資 実行金額(累計)	2,118億円	1,726億円
環境関連投融資(累計)	966億円	916億円
SDGs・環境関連サービス 利用件数	444件	449件

3. 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

当社グループでは、専担部署や中小企業活性化協議会などの外部機関を活用したコンサルティングによる経営改善の計画策定やその後の各種モニタリングまでフォローを行っています。

・経営者保証に関するガイドラインへの取組状況

当社グループは、お客さまと保証契約を締結する場合や保証人のお客さまが経営者保証に関するガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき誠実に対応するよう努めています。

(2023年度上期実績)

項目件数	北陸銀行	北海道銀行
新規融資件数	11,935件	5,159件
新規に無保証で融資した件数(比率)	5,787件 (48.5%)	3,450件 (66.9%)
保証契約を解除した件数	808件	61件
新規に有保証で融資した件数のうち監督指針に基づき適切な説明を行った件数	1,950件	712件
代表者の交代時における保証契約の締結状況		
a:旧経営者との保証契約を解除し、かつ、新経営者との保証契約を締結しなかった件数(比率)	76件 (30.3%)	5件 (17.9%)
b:旧経営者との保証契約を解除する一方、新経営者との保証契約を締結した件数(比率)	112件 (44.6%)	6件 (21.4%)
c:旧経営者との保証契約は解除しなかったが、新経営者との保証契約は締結しなかった件数(比率)	63件 (25.1%)	17件 (60.7%)
d:旧経営者との保証契約を解除せず、かつ、新経営者との保証契約を締結した件数(比率)	0件 (0.0%)	0件 (0.0%)

・事業承継・M&A

(2023年度上期実績)

当社グループでは、事業承継やM&Aなど専門知識を持つ本部部署が営業店と連携し、外部専門機関も活用しながらお客さまのニーズに応じた提案を行い、円滑なビジネス承継や事業拡大の支援活動を行っています。

	北陸銀行	北海道銀行
事業承継・M&A支援件数	99件	90件

地域活性化のための取組の状況（2023年度上期実績）

ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG（環境、社会、ガバナンス）や、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）等の視点を踏まえて、CSR基本方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

・新組織体制の発足（ほくほくフィナンシャルグループ）

2023年6月、当社グループは、今後重点的に取り組む必要のある人的資本経営の取り組みと中期経営計画の重点戦略の1つであるDXの推進を更に進めるべく、北陸銀行・北海道銀行で各々取り組んでいた業務の一部を当社へ移管し、人事戦略部とDX推進部を新設いたしました。

併せて2023年4月に新設したSX推進部内にGX推進グループおよび次世代産業支援グループを新設し、カーボンニュートラル及び半導体関連産業を優先テーマに取り組んでまいります。

・「ほくほくソーラーパーク」の建設（北陸銀行・北海道銀行）

2023年9月より、北陸銀行、北海道銀行、北海道電力株式会社、北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社の4社で「ほくほくソーラーパーク北海道白糠町」の建設を進めております。2024年春より、北海道内の北陸銀行・北海道銀行の店舗への電力供給を行う予定です。

また、2022年10月より建設を進めていた「ほくほくソーラーパーク富山県大沢野」は2023年8月に完成し、9月より発電される全ての電力を北陸銀行の店舗等で使用しています。脱炭素社会の実現と、地域社会・環境の持続的な発展に向けて、太陽光発電所「ほくほくソーラーパーク」の建設・運営を進めてまいります。

・当社グループ初のZEB店舗の新設（北陸銀行）

2023年4月、当社グループ初となるZEB店舗である北陸銀行野々市支店を新設しました。建物外皮の高断熱化、高効率な省エネ設備導入に加え、太陽光発電設備の創エネにより、最高水準のZEBを実現しております。また、クリーンエネルギー普及促進のために、行用車として電気自動車を導入しております。

店舗内の「ほくぎんプラザ野々市」では、土日祝日もご相談いただける個人向けコンサルティングの拠点として、お客さま一人ひとりの思いや人生に寄り添った、より質の高いサービスの提供に取り組んでまいります。キッズスペース・多目的トイレを完備し、高齢のお客さまやお子様連れのお客さまも安心してご相談いただくことが可能です。

※「ZEB」とは、省エネ+創エネにより従来建物比100%以上の消費エネルギー削減を実現した建築物です。

・安平町との「地方創生に関する包括連携協定」の締結（北海道銀行）

2023年9月、北海道銀行は安平町との間で、「地方創生に関する包括連携協定」を締結いたしました。また、同行が橋渡し役となり、安平町と株式会社常口アトムとの間で「空き家・空き地調査事業」が展開されております。

安平町の地方創生を実現するため、移住・定住促進及び空き家対策に関する事業やゼロカーボンの推進に関する事業などの実施において、相互の人的・知的資源の活用と交流を通じて、地域経済の発展及び地域社会の活性化を図ることを目的としております。

・コンソーシアム「Team Sapporo Hokkaido」への参画について（ほくほくフィナンシャルグループ）

2023年6月、当社は21機関で構成される産学官金からなるコンソーシアム「Team Sapporo Hokkaido」に参画いたしました。

「Team Sapporo Hokkaido」で行われる6つのワーキンググループのうち当社はファンド・ファイナンスワーキンググループ長を務め、成長ステージに応じたファンド、ファイナンススキーム等の整備や今後取引の本格化が期待されるカーボンクレジット市場等の活性化などさまざまな取り組みを各構成員と連携して進めてまいります。

※「Team Sapporo Hokkaido」とは、北海道の有する国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に活用し、世界中からGXに関する情報・人材・資金が北海道・札幌に集積する、「アジア・世界の金融センター」の実現を目指すコンソーシアムです。札幌市、北海道、北洋銀行、当社が共同事務局を務めております。

・「ほくほくビジネスマッチングシステム」の運営を開始（北陸銀行・北海道銀行）

2023年10月、北陸銀行および北海道銀行は、リンクス株式会社が開発したビジネスマッチングシステムを導入し「ほくほくビジネスマッチングシステム」として運営を開始しました。

もともと両行で別々にビジネスマッチングシステムを運営・利用しておりましたが、今回のシステム導入により、これまで課題となっていた銀行を跨いだ情報連携が可能となり、銀行の垣根を越えてお取引企業さまのビジネスニーズを探し紹介することが可能になりました。

・事実婚および同性パートナーの住宅ローン取り扱い開始（北海道銀行）

2023年8月、北海道銀行は連帯債務者や担保提供者における配偶者の対象に「事実婚の方々」「同性パートナーの方々」を含める取り扱いを開始しました。

近年、地方自治体や企業・団体を中心にLGBTに対する取り組みや理解促進が広がってきております。北海道銀行では、事実婚および同性パートナーに対応した住宅ローンの取り扱いを開始することで、誰もが自分らしく安心して生活することのできる地域社会づくりに貢献してまいります。